

環日本海オアシス都市

第7次 境港市総合計画

中期基本計画

2001—2010



魅力あるふるさと
心豊かで活力あるまちへ

はじめに

21世紀を迎える、めまぐるしく変貌を遂げる社会情勢にあって、地方自治体には、行政需要の増大や地方分権時代への対応など、これまでにも増して効率的で主体的な行財政運営が求められています。

このような中、境港市におきましても、時代の流れに的確に対応しつつ、魅力的なまちづくりを進めていくために、「第7次境港市総合計画」の改訂を行いました。

今後、引き続きめざすこととした「環日本海オアシス都市～魅力あるふるさと・心豊かで活力あるまち境港～」のさらなる実現に向け、この計画をこれから指針として、様々な施策に全力で取り組んでまいる所存であります。

市民の皆様には、行政と市民がそれぞれに担うべき役割についてご理解をいただきとともに、市政への積極的なご参画をいただきなど、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成14年3月

境港市長
黒見哲夫

総合計画の体系

▼将来都市像

環日本海オアシス都市

魅力あるふるさと・
心豊かで活力あるまち

境港



▼これからの課題

国際化
への対応

地域の
連携

高齢化・
少子化
への対応

新たな
産業の振興

環境の
保全

こんなまちを



将来指標

土地利用の基本方向

▼まちづくりの展開方向

▼21世紀の都市づくりの基本目標

日本海を拓く交流拠点
のまちづくり
(交流拠点都市)

いきいきコミュニティ
のまちづくり
(福祉文化都市)

住みよい環境
のまちづくり
(快適環境都市)

価値観の
変化と
地域文化の
創造

地方分権
の推進

高度情報化
への対応

男女共同
参画の実現

I. 日本海
を拓く
交流拠点
のまちづくり

II. いきいき
コミュニティ
のまちづくり

III. 住み
よい
環境
のまちづくり

(1) 機能的で魅力ある
都市基盤の整備

(2) 活力とにぎわいのある
産業の振興

(1) 健康で生きがいのある
くらしの実現

(2) 人と文化をはぐくむ
生涯学習の推進

(1) 快適でうるおいのある
生活環境の整備

(2) 安心とやすらぎのある
くらしの実現

①	土	地	利	用
②	市	街	地	
③	港	湾	・	漁港
④	空			港
⑤	陸	上	交	通
⑥	高	度	情	報化
①	水			業
②	工			業
③	商			業
④	貿			易
⑤	農			業
⑥	觀	光	・	レジャー
⑦	労	働	環	境

①	高	齢	者	福	祉
②	児	童	福	祉	
③	社	会	福	祉	
④	保	健	・	医	療
⑤	國	民	健	保	険・國民年金
①	幼	兒	教	育	
②	學	校	教	育	
③	社	會	教	育	
④	ス	ポ	ーツ・レ	ク	リエーション
⑤	芸	術	・	文	化
⑥	コ	ミ	ュ	ニ	テイ
⑦	國	際	交	流	
①	自	然	・	都	市景觀
②	公	園	・	綠	地
③	ご	み	處	理	
④	上	・	下	水	道
⑤	し	尿	處	理	
⑥	住				宅
⑦	生	活	・	連	道路
①	環	境	・	對	策
②	防	災	・	消	防
③	交	通	安	全	・防犯
④	斎	場	・	墓	地
⑤	基	地	・	對	策
⑥	震	災	・	復	興

基本構想・基本計画推進
のために

1.	市	民	參	加
2.	行	政	運	營
3.	廣	域	行	政
4.	財	政	運	營

めざします

こんなことに取り組みます

基・本・構・想

将来都市像

これまでつちかわれてきた本市の特性を生かしながら、市民一人ひとりが心の豊かさを実感でき、いきいきとした「活力」がさらなる発展を導き出すような「魅力的なふるさと」づくりを進めることを基本理念に、21世紀における本市がめざすべき将来都市像を次のように定めます。

～環日本海オアシス都市～

**魅力あるふるさと・
心豊かで活力あるまち境港**

環日本海オアシス都市の趣旨

本市は、「環日本海」経済圏のなかにあって、日本海沿岸における中心的役割を担いつつ、水（海）に恵まれ緑豊かで快適な環境のもと、市民が文化的で質の高いくらしができる独自の魅力を持ちあわせることによって、まち全体が憩いの場として交流の中心となる「オアシス」のような都市をめざします。

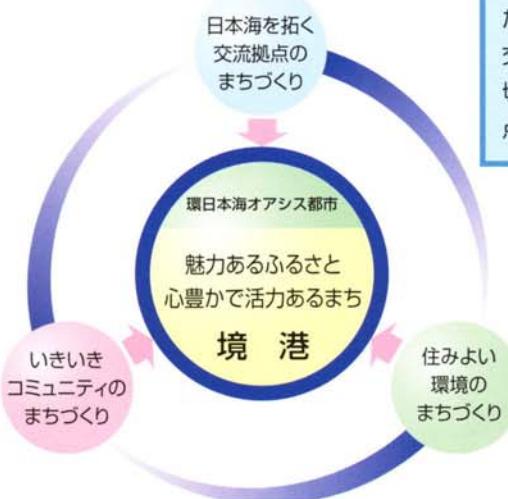
21世紀の都市づくりの基本目標

将来都市像を実現するため、次の3つの基本目標を設定して、具体的な都市づくりを展開します。

《福祉文化都市》

すべての市民の生涯を通してした福祉、健康、教育の環境を充実し、うるおいとふれあいに満ちた地域共同社会のなかで、誰もが健康で安心して、いきいきとくらすことができ、豊かな人間性がはぐくまれる福祉文化都市をめざします。

魅力あるふるさと
心豊かで活力あるまち
境港



《交流拠点都市》

経済基盤の整備をはじめ、都市としての機能的な基盤づくりとあわせ、とくに産業振興を主軸とした活発な交流を推進し、環日本海交流の拠点として、新たな時代を切り拓く、豊かで活力ある交流拠点都市をめざします。

《快適環境都市》

自然との調和を保ちながら、豊かな住環境と安全性にも優れ、快適性に富んだ生活空間を積極的に創出していくことによって、人々が共存し、市民一人ひとりが人間らしく生活することができ、魅力とうるおいが実感できる快適環境都市をめざします。

交流拠点都市

I. 日本海を拓く交流拠点のまちづくり

《重点施策》

- 境港港湾整備
(外港昭和南地区の公共岸壁、埠頭など)
- 米子空港滑走路延長 (2500m化)
- C I Q体制の充実強化
- 境港港湾合同庁舎建替え

環日本海時代を担う西の交流拠点をめざして、港湾・空港機能の拡充を促進するとともに、企業誘致やポートセールス活動の積極的な展開により、境港F A Z計画を推進します。

基幹産業である漁業・加工・流通など水産業の振興に取り組むとともに、新たな観光資源の開発により観光の受入れ体制づくりを進め、地域産業全体の活性化を図ります。

《重点施策》

- 境漁港改修 (岸壁・泊地浚渫など)
- 境港水産加工汚水処理施設改修
- 水木妖怪文化館 (仮称) 建設
- 環日本海交流館 (仮称) 建設調査

《重点施策》

- 臨港道路江島幹線 (江島架橋) 建設
- 県道米子空港境港停車場線道路改良
(竹内町～中野町)
- 国道431号線自転車歩行者道整備
(上道町～竹内町)
- 県道米子境港線交差点改良 (渡町など)
- 境港新都市土地区画整理事業

都市間交通を活発化するよう、幹線道路網の整備を促進するとともに、都市基盤の充実により魅力ある市街地を形成します。

高速通信網の普及など、地域全体でITを有効に活用できる環境を整備して、都市機能の充実、利便性の向上を図ります。

《重点施策》

- 鳥取県情報ハイウェイの整備
- 住民基本台帳ネットワーク構築
(ICカード発行)
- 地域でインターネット活用
(市公式ホームページ開設など)
- 府内LAN導入

福祉文化都市

II. いきいきコミュニティのまちづくり

《重点施策》

- 幼稚園・保育所の合築
- 3歳未満児保育の拡充
- 延長保育、一時保育の実施
- 放課後児童クラブ設置

保育サービスなどの充実により、子どもが伸び伸びと育ち、保護者も安心して育児できる環境づくりを進めます。

高齢者や障害者が安心してくらせるように、福祉サービスの充実を図り、地域で支え合いながら福祉のまちづくりを推進します。

《重点施策》

- 高齢者ふれあいの家
- 自立支援ヘルパー派遣
- 生活支援ハウス建設・運営
- 福祉の店開設
- 障害者家族支援(障害者一時預かり)

《重点施策》

- 小・中学校コンピューター教室整備
- 小学校冷暖房設備改修
- 小学校給食室・特別教室整備
- 公民館改修(冷暖房設備、トイレ等)
- 国民文化祭開催

(妖怪・未来産業・環日本海「第九」フェスティバル)
○竜ヶ山球場整備(リニューアルオープン)

家庭・地域・学校の連携による教育体制の充実、教育環境の整備を進めるとともに、文化やスポーツ活動の振興を図ります。



快適環境都市

III. 住みよい環境のまちづくり

《重点施策》

- 清掃センター改造
(ダイオキシン対策など)
- 広域灰溶融施設建設
(焼却残渣の減量化など)
- 公共下水道事業
- 樋ノ上川線道路改良
- 中浜1・8号線他1線道路改良
- 空港周辺生活環境整備

市民・事業者・行政で協力して、環境負荷の少ないまちづくりを進めるとともに、身近な生活環境の向上を図ります。

鳥取県西部地震からの早期復興をめざして、被災した住宅の再建や公共施設の復旧などに取り組むとともに、関係機関と一体となつた総合的な防災体制を確立します。

《重点施策》

- 震災復興事業
- 被災者住宅再建支援基金の創設
- 地域防災計画の見直し
- 防災行政無線施設更新
- 地域衛星通信ネットワーク整備



総合計画の構成

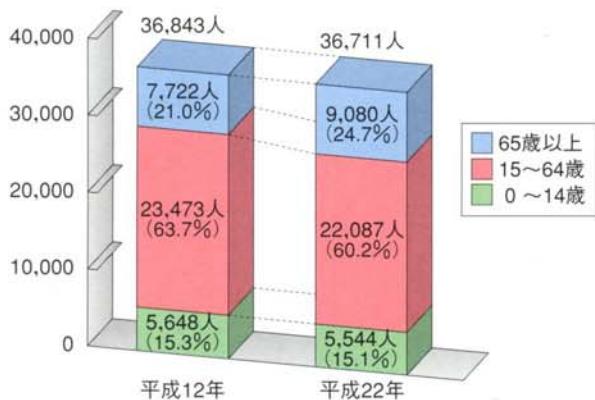
総合計画は、基本構想・基本計画・実施計画の3つで構成しています。

今回は、これまでのまちづくりの方向性を引き継ぐこととして、「基本構想」の時点修正と新たな「基本計画」の策定による「第7次境港市総合計画」の改訂を行い、これを「第7次境港市総合計画中期基本計画」としました。

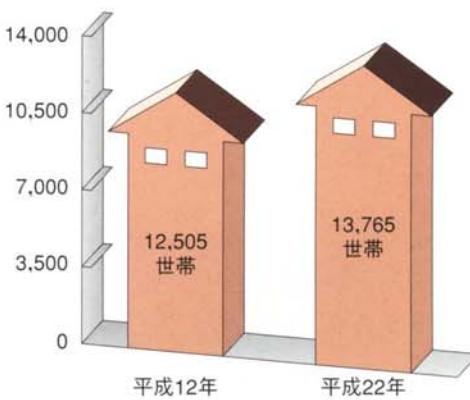


将来指標

○人口及び年齢階層別人口



○世帯数



○就業別人口

